

へるす&ふれいしやる・
えでゆけいしよん？

トータス

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

こちらは、原作者：丸山くがねさんの許可を得た上で、正式に作成しております。

これは、実際にある日常を、超^{オーバー}・大袈裟^{ロード}に描いただけ。

読者には、この恐怖を分かってもらえるだろうか？

ニューロニスト・ペインキル&プルチネツラの恐怖と狂喜のコラボレーション・デビューツト！

アナタは多分、プルチネツラにその手を握られていたことがあるはず。

*念の為に、こちらは正式なルールに配慮した上で作成しています。

この作品には年齢制限はありません。

ただし、残酷な現実が待ち受けています。

残酷でおぞましい、誰しもが体験した事があるだろう事実を描いております。

目次

へるす&ぷれいしやる・えでゆけいしよ ん？	1
【適削・連鎖鋸】	1

へるす&ぶれいしやる・えでゆけいしよん? 【適削・連

鎖鋸】

へるす&ぶれいしやる・えでゆけいしよん? Ⅱ保健体育

子供が嫌がる虐待とも取れる行為をする、プルチネツラのような人物は、実はこの世には非常に多い。そして、その事を咎められることはなく、それを生業とすることすら可能とされている。過去を遡り、現在に至っても、そして遠い未来においても、それは不変と思われる。

時に、幼い子供が大声で泣けど叫べど、全力で嫌がり暴れ抗い続けようとも押さえつけ、その幼気いたいけな心を傷付けてしまえる事ができる。

傷付けた後、アクマでも甘やかさし、その警戒心を緩めた後、再度それは繰り返されるという。幾度も騙された後、いつしか同じ思いを味わわせる事に戸惑いを無くすことになろうとは、誰も知る由もない。

子供らが大声で嫌がっても、力の限り本気で抗つても、泣き叫ぶほどに痛がっても、それは行われる。それが可愛いさからか、終了後にはなおさらの笑顔を浮かべているプルチネツラプルチネツラが子供らをあやす場面を目にする事が多いと聞く。二度と来たくない

言い募ろうと、その後も幾度も地獄の如き修羅場へと子等を導くプルチネツラ達。極稀に、地藏菩薩の如きプルチネツラも存在するとかしないとか。何分にも出会ったことがない。

ただし、実行したプルチネツラ達からすると、それはその者達の幸せを願つての行い。ただし、実行される側からすると、優しかったプルチネツラ達が^{アイチデウイ}大悪魔を軽々と超越し、大魔神。否、^{イウルゴツス}超邪神に大変身を遂げた瞬間を目撃する。

そして、それをされた子等がプルチネツラになった時、自らの子等にも同じ苦痛を与え、味わわせてしまう負の連鎖が、実はそこに存在する。中には、赤の他人にすら対価を取つて施そうとする剛の者も、また実在する。(偏見)

その時の心的外傷^{トラウマ}／精神的苦痛^{ストレス}は、大人^{プルチネツラ}となったとしてもなお残り続け、その事を口にするこすらすら憚られ、耳にしたものは反射的に身を竦ませ、口を閉ざし、耳を塞ぐという。

いかなる靈長類最強であろうと、百獣の王を称する者であろうと、その事実を前にした時、負けを認め、絶望せざるをえないだろう。

そして、どんなに偉くなったとしても、その行為を止めることは・・・難しい。たとえ、切り札の異名を持つ傍若無人とも捉えられる大権者^{ダイケンジャ}＝独裁的な権力者でさえも、それを制止させる事は、事実上不可能とされる。

そして、それらの行いは当然、イリーガル非合法と思われがちだが、「合法」とされて推奨すらさ
れている。

【要するに、現代医療を持つてしても根治が難しい、誰もが知るであろう、慢性の不治の
病がテーマ】

てきさく、ちえいんそく
【適削・連鎖鋸】

唄の雄姉さん ニューロニスト・ペインキル

伴奏の鬼異さん プルチネツラ

駄楽器：魔動連鎖鋸

絶叫が木霊する坑道。象牙色をした白と黒の鍵盤の如きそれを、その一本一本を丁寧
に優しく、ほっそりとしていて尚且、ねつぷりとした指先で一本一本を押して、その反
応を確かめるニューロニスト。その指から伝わる感触と大気を震わせる絶叫を、心地よ
さそうに確かめている。周囲からは血が滾々と湧き、辺りを汚す。

その白き象牙質なそれは、小人の「巨人」の歯。アインズ・ウール・ゴウン魔導王国
の麾下に編入され、食生活が激変したがために、蔓延した恐怖の引き金。

時に拷問具として用いられることでも知られる開口器。元々は、19世紀にあまりに

ぶるるるるるるあつあ!!
ギユルギユルウウウウウウウウ、ギユララララララララあつ!!

プルチネツラが、マジカルチェーンソー魔動連鎖鋸を片手に、ニューロニストの美声の誘導ガイドを頼りにガリゴリと情け容赦なく、泣けど叫べど鼻歌交じりに削りまくる。歯茎を切裂き、修正不能と思われる歯を割きさ、歯科医助手に任命されたプルチネツラの活躍する場が最多となった恐怖。

「どオウのオウ歯アソワをオウみイソてエウもオウ、ネイタアナアイ穢ヘイいのおウ?」

その結果として、それまでに巨人たちにはなかつた病気が蔓延した。その名は、不治の病「虫歯」。

霜の巨人達は、「真つ赤」に染めた氷雪がご馳走だった時の感覚で、いつものようにむしやむしやと食べまくった結果、虫歯が蔓延した。

魔法で虫歯を治癒することも可能ではあるのだが、一度でも冒された虫歯には無力。髪を切ったが、髪型が気に入らないからと治癒魔法を掛けても元の髪型には戻らないように、虫歯も直後は表面的には直せても、元を絶たねば余計に酷くなってしまふ。

結局は患部をゴリ押しで削り去り、充填剤を詰めることで完治したと思われがちだが、実はそれは対症療法の一環にしかあらず、その後も再発の危険を常にはらむ延命治療でしかないことを知る者は・・・まだ少ない。

そして、歯磨きを怠るところなるという実演が示され、アインズ・ウール・ゴウン魔導王国の麾下たるエ・ランテルでは、虫歯になる者が激減した。その後、帝国でも実演されてから、歯磨きを怠るものは激減したという。

副次的な効果として、公的な医療費に当てる予算も、ある程度は浮いたという。

おののちなみに、余談ではあるが、豪放磊落を地で行く、あのゼンベル・ググーが最も恐れ戦いていたという。

サメやワニの歯は、半永久的に生え替わり続ける。

だが、虫歯になれば抜いてしまうしかなく、その歯を抜いたとしても、また別の歯が虫歯に蝕まれ続ける。その連鎖は容易に止まることなく続くために、ひととき熱心に歯磨きを推奨し、励行れいこうしたという。

一応、砂糖などの糖類を一切食べなければ、虫歯にはならないとされている。

だが、一度でも禁断の蜜の数多の味を知ってしまったえば、その誘惑から逃れられるものは・・・極僅かだと言えるだろう。

ニューロニスト&プルネツラが敢行する「虫歯」治療。その虫歯予防を目的として作成されたポスターは、この異世界に凄まじい効果を発揮したという。

「虫歯になったら、いらつしやあい。や・さ・し・くう、治してえ、あ、げ、ちや、う♪
深紅のペーゼ
 PON!」キスマーク付き

如何な傷病であろうともゴツドハンドを振るい、根治不能な症例を覆せる名医である
 うと、重症な傷病患者も意識があつたならば、全力で両足で立つて走つて逃げ出しそう
 な【漢女医師】ニユーロニスト。

「ワワワワワワワ! いつでも君たちを心待ちにしているぞー!」

魔動連鎖鋸マジカルチェーンソーを両方の手で片手持ちにガツツポーズを決めている Pelliis
 Vultusウルトゥス風トウズ(ラテン語で革レザーの顔フェイス)な扮装コスプレをしたプルチネツラ。これからどこか田舎
 で家畜相手にスローたい・ライフを始めそうだ。

どう見ても、どこから見ても、治す側ではなく、蝕む側にしか見えないのはご愛嬌だ
 ろう。